

# 12月度 LAPIS通信

今年も改めて。。。

「学問とは、人の人たる道を学ぶ事なり。」

数学、英語、理科、社会などは学術・学芸にて、学問にあらず。

「大日本史」を編纂し、天下に「水戸学」ありと言わしめた徳川光圀公（水戸黄門さま）のお言葉です。（わかりやすく表現しています。）



何のために学ぶのか？

それは

人として生きる道を「身につける」ため。

そのためには先人たちが如何にして生きてきたかを知り、

そして鍛錬する必要があります。

「知る」とは「行う」ことなのです。（知行合一）

成功すると幸せになるのではないそうです。

今を幸せだと感じ、感謝していると成功が舞い込んでくるそうです。

笑顔でいると笑顔が返ってくる。拍手すると笑顔がもらえる。

感謝すると感謝が返ってくる。少し挑戦してみると成長する。

成長すると、できることが増えている。

ときには歯を食いしばってがんばると肝が据わってくる、胆力がつく。

受け容れる力（怒）が身につく。

そんな人間力を付けるために学問をして欲しい。

自分の力を人の幸せのために使える人間になって欲しい。

人を幸せにするために何に力を注げばいいのか？

志を持ってほしい。そのために先人の志を学んでほしい。

学問をしてください。行動してください。



人が喜ぶことを想像して仕事の準備をすると楽しいです。  
わくわくします。

勉強も自分のためと言われると苦しいかもしれませんが、  
「自分に関わる すべての人のために勉強をする。  
自分に関わるすべての人を幸せにするために勉強をする。」と  
視点を変えてみると、なにか違うものが見えてくるかもしれませんね。

LAPIS の生徒たち全員が第一希望校に合格してもらいたい。

それもトップクラスで合格してもらいたい。

我々は、一人でも希望校に合格しない生徒がいれば、  
心の底から喜ぶことはできません。

どうぞ全員が第一希望の学校に合格しますように！

心の底から祈ってやみません。



以下は、ラピスで実施している「道徳の時間」での生徒の感想です。  
『何のために勉強をするのか？』『何のために生きるのか？』というヒントになる話や偉人伝などを聞き、聞いた話について生徒同士で意見を交換しています。紙面の都合で一部抜粋となっていますが、ぜひ、ご一読ください。

## 【引用文献】

平 光雄 著

『子どもたちが身を乗り出して聞く道徳の話』

致知出版社

## 自信

どんなに揺れても折れない心

何かを「絶対にうまくやれる」という確信」が「自信」であるように錯覚している人が多いが、そんなのは「過信」にすぎず、持たなくてもいい心だ。どんなことだって「絶対にうまくいく」とは言えない。極端に言えば、あと数分後に自分が必ず元気であるという保証も、生きていくという保証もないし、地球があるという保証すらない。誰にとつても「一寸先は闇」が現実だ。だからそんな「絶対うまくいく」という「自信」など、だれにも持てなくて当然である。

では、「自信」とは何か、それは「自尊」の念ととても近い。「もう一人の自分」から見ると、「根気よく」「丁寧に」「集中して」「誠実に」やってきたなと思えるようなことに対して、「今、この時点でのベストは尽くしたな」と思える感情が「自信」である。だから、結果が伴わないことがあつても仕方がない、という諦念や潔さもセットである。

もちろん、なかなかそんなふうには思えない。しかし、少なくとも最後は「百転一起」(後述)でいいんだという覚悟もセットであるべきだ。

話 「揺れながら安定」

法隆寺の五重塔が千四百年以上も倒れなかった理由が分かる？

すごく丈夫に造つてあつたから？

実は、「揺れやすい」からなんだ。

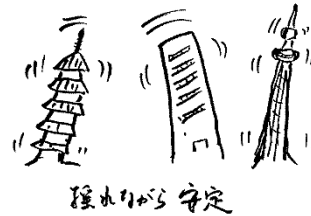
高い建物が倒れる一番の原因はやはり地震だけど、揺れない建物ほど揺れの大きさがあるところまでくると倒壊しやすんだ。それに対して、五重塔は、揺れやすいからこそ地震の揺れをうまく乗り切れたんだ。

この大昔の建物の構造を真似したのが、東京スカイツリーなんだよ。

高層ビルの耐震構造も皆、「揺れる」ということなんだ。

つまり、「揺れながら安定」しているのが、五重塔であり、スカイツリーなんだ。人間だつて同じ。悩んだり迷つたりして、いつも揺れている人の方が案外強いものなんだ。逆に「信念を曲げない一徹の人」というのは、見た目は強そうでも案外ボキッといつてしまうものなんだよ。特に悩みやすい人、「揺れながら安定」が一番強いんだつて覚えておこう。いくら揺れても倒れなけりゃいいんだから。

よつて、「揺るぎない自信」などというものは、現実的ではない。ではどう考えればよいか。「揺れながら安定」が一番強いのだと思うことである。「自信」というと、微動だにしない、直立した建物のイメージかもしれないが、それは実際には強くない。揺れても倒れるところまではいかない、というのが建物の強さであり、同様のことが、人間にとつても最大の自信であるといえる。



## ●●授業を受けた生徒の感想(抜粋)●●

### 中1 女子

確かにかと思うところがあった(新発見!)

昔の人はとても頭がおよろしかった。昔の建物がなければ、今の東京スカイツリーなどが、今なかったということにとってもおどろいた。

### 中1 男子

スカイツリーと同じような仕組みの建物が昔からあって、それが今でもくずれていないというのがすごいと思った。昔の人は頭がいい。自分は「揺れながら安定」する人になりたいな———と思った。

### 中1 女子

今日の道徳で思ったことは…

私はとても悩むことが多く、テスト期間になると逆にやる気をなくしたり、最初からあきらめてしまうことや、部活では大会などで負けたりミスったりすると心がボロボロになります。でも、今日の「自信」を読んで悩みやすくても倒れなければ大丈夫!という事を聞いて少し楽になり、安心しました。今回の期末テストも不安でしたが、がんばろうと思いました。

私が一番悩んでいたのは他の友だちより頭が悪いということでしたけれど、他の友だちとは比べず自分ができるかぎりがんばろうと思いました。「自信」を読んで安心することができたので、とてもよかったです。

### 中2 男子

僕は自信を持っていないけど、それは自分が今までそれ程きつい努力をしてこなかったから信じることができないといっているよう

にもとることができるので、自信を持てるほど努力し自信を持っただけで終わらない人になりたいと思った。

いくら揺れていても最後に倒れない人が、人間にとって最大の自信だということがわかったから、これから受験とかもあると思うけど、あきらめないでがんばりたいと思った。

### 中2 女子

「いくら揺れても倒れなきゃいいんだから。」で、悩んだり迷ってもいいんだと思った。悩んだ分だけ強くなるというのは、このことなんだと思った。私が思っていた自信の意味は全然違った。自信があるという人は、きちんと言葉の意味を理解していたのだと思う。本当の意味の自信を持てるように、ベストを尽くしていきたい。

迷ったり失敗したりしてもいいんだと分かった。自信を「絶対にうまくやれるという確信」という意味だと思っていた人が同じようにいた。お互い、本当の意味を知って、ベストを尽くしていきたい。迷ったり悩んだりすることは大事。

### 中2 男子

自分も「信念を曲げない一徹の人」が強いと思っていたけど、逆に悩んだり迷ったりして、いつも揺れている人の方が倒れないで済むことがわかった。五重塔が倒れたことがないのも、わざと揺れるつくりにして、倒れないようにするという昔の人の工夫にびっくりした。

他の人の意見を聞いて、自信がすごくある人や揺れやすい耐震型の人など、それぞれ違う意見が出ていて、とてもおもしろかった。自分は意見をあまり言うことがないけど、倒れない人になりたい。

お手数ですが、内容物をご確認の後、お子さまを通じて

12月25日（水）までにケースのみをご返却ください。

各学年・クラスでLAPIS通信配布時に生徒にも説明するために、  
ご兄弟で受講されているご家庭には2部、3部と同じものが届いてしまいます。  
申し訳ございません。  
不要であればケースに入れて戻していただければ、こちらで再利用いたします。

高校受験 **LAPIS**

TEL & FAX 047-443-1010 田中携帯 090-4822-0137

道野辺本町1-4-1 谷村ビル2F

東武鎌ヶ谷駅東口 徒歩2分 県道船橋我孫子線から見上げるとLAPISです みちのべ歯科となり  
<ホームページ「塾LAPIS」で検索 <http://www.lapis-sonrisa.com>>